

令和6年度きのくにコミュニティスクール推進フォーラム 分科会【学校の部】

日時：令和6年5月11日（土）13:00～14:15

場所：県民交流プラザ・和歌山ビッグ愛

テーマ：「あなたはどう動くか」

参加者：56名



「CSと地域学校挙動活動の一体的推進
～地域と学校の連携・協働の必要性と可能性～」

岡山県教育庁生涯学習課 地域協働活動アドバイザー
文部科学省CSマイスター 安田 隆人 氏

地域との連携・協働の必要性

地域と学校の連携・協働はMUST！

こどもの
多様化

子どもをめぐる課題の増加→学校の役割・負担の増加

家庭の
複雑化

コミュニティ・スクールと地域協働活動の一体的推進

- ・ビジョンの共有
- ・課題解決、教育課程の充実等
特色ある学校づくり

熟議の必要性

教員の働き方改革を年間のテーマとして

ポイント

【鴨方東小学校の事例】

生産性を高め、教育の質を高めることを目標に、「時間」「業務」「環境」の3つの領域で取り組んだ。

地域と学校の連携・協働の可能性

地域の力の可能性は無限大！

子どもは、いい大人に関わり、学ぶことで変容する

学びの循環

地域の担い手意識の高まり

次世代の子どものために学びをサポートする大人に成長



ポイント

熟議・対話を重ねること

まずは、学校運営協議会という「まな板」の上に子どもを取り巻く課題や、充実したいことなどを載せない限り、調理も盛り付けもできず、要は熟議も協働活動もできず、「美味しい」という成果にはつながらない。

令和6年度きのくにコミュニティスクール推進フォーラム 分科会【地域の部】

日 時：令和6年5月11日（土）13:00～14:15

場 所：県民交流プラザ・和歌山ビッグ愛

テーマ：「あなたはどう動くか」

参加者：50名



「今どんな教育が必要とされているのか
～学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進とは～」

美麻小中学校地域学校協働コーディネーター
文部科学省CSマイスター 前川 浩一 氏

コミュニティ・スクールは導入することが目的ではない！！

- ・CS導入の意義を正しく理解しましょう。
- ・みなさんは今、こどもたちにどんな教育が必要だと思いますか。

コミュニティ・スクールは教育改革！！

- ・地域が学校と関わっていれば、それでよいと思っていないか。
 - ・「社会に開かれた教育課程」の理解が大切
- ①よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る理念を学校と社会が共有
 - ②こども達のどんな資質・能力を伸ばすか
 - ③学校が社会と連携していく



なぜ美麻で協働の授業ができるのか

- ・グランドデザインや経営ビジョンで地域との協働が明確に
- ・学校運営協議会、ボランティア講習会を通して地域と学校が育てたいこどもの姿を共有
- ・総合的な学習の時間や放課後子供教室などで、地域の方が学校やこどもたちのことよく理解し、自分事として協力
- ・こどもたちは、地域のことをよく知り、地域の方に心を開いている
- ・地域コーディネーターが学校と地域の両方をよく理解
- ・教員間での材（ひと・もの・こと）の共有

コミュニティ・スクールは地域オリジナルしかない！！

- ・地域によって環境や人が違う。
- ・他地域の事例は参考にはなるけど、真似だけで終わらせない。
- ・自分たちの町のことは自分たち（みんな）で考えるしかない。

令和6年度きのくにコミュニティスクール推進フォーラム 分科会【行政の部】

日時：令和6年5月11日（土）13:00～14:15
場所：和歌山県勤労福祉会館プラザホープ
テーマ：「あなたはどう動くか」
参加者：38名



「学校運営協議会と地域学校協働活動（共育コミュニティ）の一体的推進に向けて
～今、求められる行政の伴走支援について考える～」

橋本市教育委員会教育長 今田 実 氏

学校、学校運営協議会、教育委員会の課題解決へのキーワード！

目的・目標等の共有、推進のためのエネルギー、具体的な活動をつなぐもの・動かすもの

熟議
参画意識

社会に開かれた
教育課程

コーディネーター

地域人材

情報発信

伴走支援の体制と具体化の手立て！

教育委員会方針（市の方針） への位置づけ

- 橋本市教育大綱の理念
↓
理念に基づく基本方針
と重点目標
↓
目指す具体的な姿
- ここにCSを位置づけ
価値を高める

教育委員会事務局の 体制づくり

【組織】
社会に開かれた教育課程として具現化を図るために、生涯学習課と学校教育課を連携

【人事】
両課を兼務する指導主事の配置

方針を具現化させるための手立ての提示

各学校の教育課程に組み込む

カリマネ、熟議、協働等に向け、指導主事が各校を訪問（研修会の開催）

教育長、指導主事等からの発信

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することで教育活動の充実を図る

子どもを取り巻く大人のまなざしをきっかけに！

子どもと大人の学びの好循環⇒「持続可能な社会の創り手」の育成

大人

まなざし
声かけ
期待・願い
子ども理解

子ども

接点
親しみ
自己肯定感
成長→夢



令和6年度きのくにコミュニティスクール推進フォーラム 全体会【ワールドカフェ】

日 時：令和6年5月11日（土）14:35～15:50

場 所：県民交流プラザ・和歌山ビッグ愛

テーマ：「あなたはどう動くか」

参加者：144名



「子どもたちの未来は、今ここにある～みんなで語りあい、学びあうワークショップ～」



文部科学省CSマイスター

東京都三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員

四柳 千夏子 氏

🔔 ワールドカフェって何？

- ☒ ワールド・カフェは、小グループで席替えを繰り返しながら、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる話し合いの手法
- ☒ 多種多様で自由な意見交換をしあってこそ意味があります。
- ☒ まるでカフェのようなリラックスした雰囲気の中で、一つの答えを出す必要はありません。

🔔 最初の旅行（グループワーク1回目） ※メンバーは3分科会シャッフル

分科会（【学校の部】【地域の部】【行政の部】）を聴いて、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を推進するためのポイント、心に刺さったあなたのキーワードを書きましょう。

- ①付箋（3枚）に短い言葉で書く
- ②話の内容、キーワードの理由を語る
- ③他の人の「語り」をしっかりと聴き合う
- ④付箋をグルーピングし、まとめる

🔔 2回目の旅行（グループワーク2回目） ※1名は説明役で残る（他シャッフル）

- ①残った人が、1回目の話し合いを簡単に説明
- ②他のグループから来た旅人は、先ほどとの相違点、感じたことや意見を付箋に書く
- ③さらに対話を深める

🔔 最後の旅行（グループワーク3回目） ※メンバーは同じ分科会の参加者

- ①分科会での講義も分科会、全体会での2つの旅行先の内容含めたの感想を語る
- ②明日からどんなことができるか、つまり「自分はどう動くか」について語る
- ③共有タイム → 各グループの模造紙から集めたキーワードを四柳先生が発表



🔔 まとめ

コミュニティ・スクールでは、WHAT（何をするか）、HOW（どのようにするか）ではなく、WHY（何のためにするか）が大切！

「学校運営協議会の会議は誰のため？」みんなが自分事にとらえ、対話を重ねて「地域とともにあるいい学校」をみんなで作っていきましょう！